



# BricsCAD<sup>®</sup>


BricsCAD作成データの  
AutoCAD利用



HEXAGON



Bricsys<sup>®</sup>



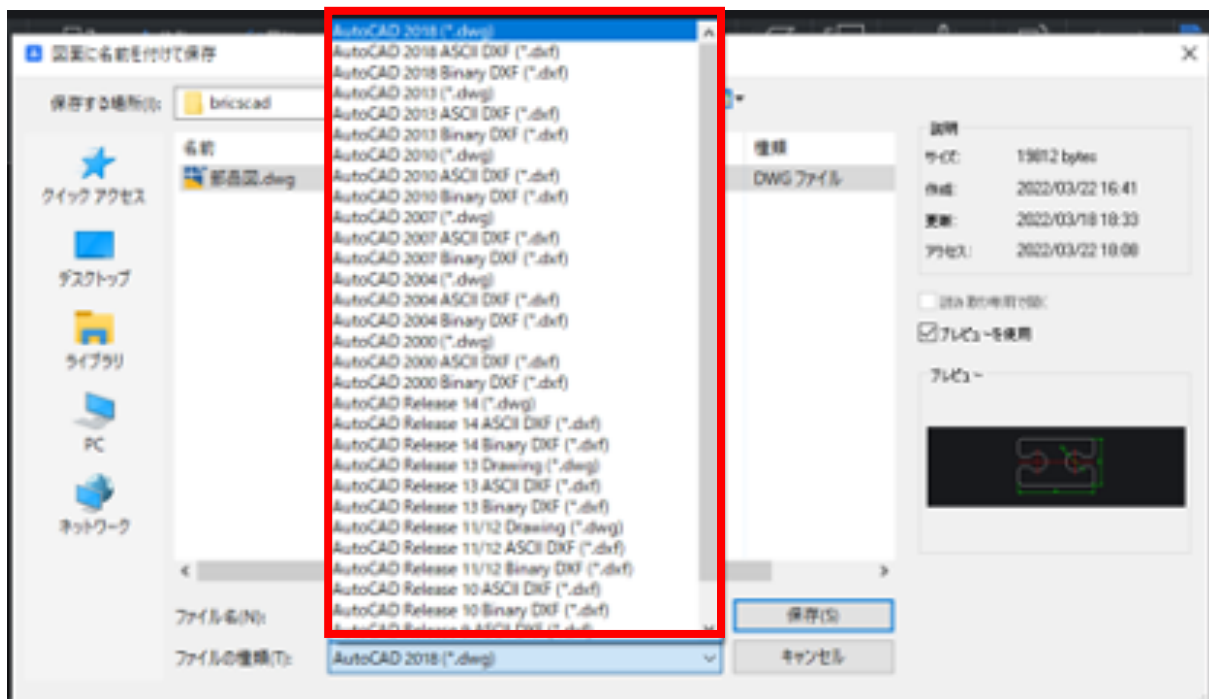
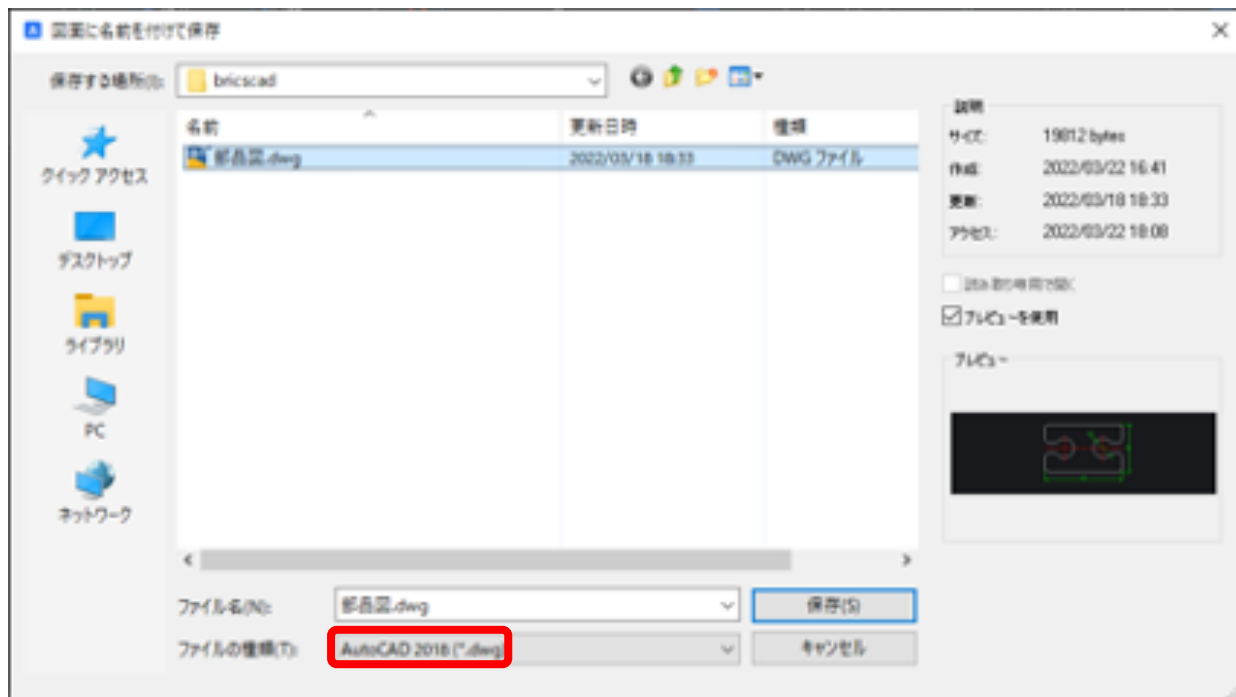
# 目次

BricsCADで作ったデータをAutoCADで読み込む ————— 3

AutoCADからデータを開く方法 ————— 5



[ファイルの種類]をクリックすると、AutoCAD (DWG) の様々なバージョンに対応していることが確認できます。



BricsCADの標準ファイル形式はAutoCADと同じ「DWG」なので、作成したデータを変換する必要がないということになります。

# AutoCADからデータを開く方法

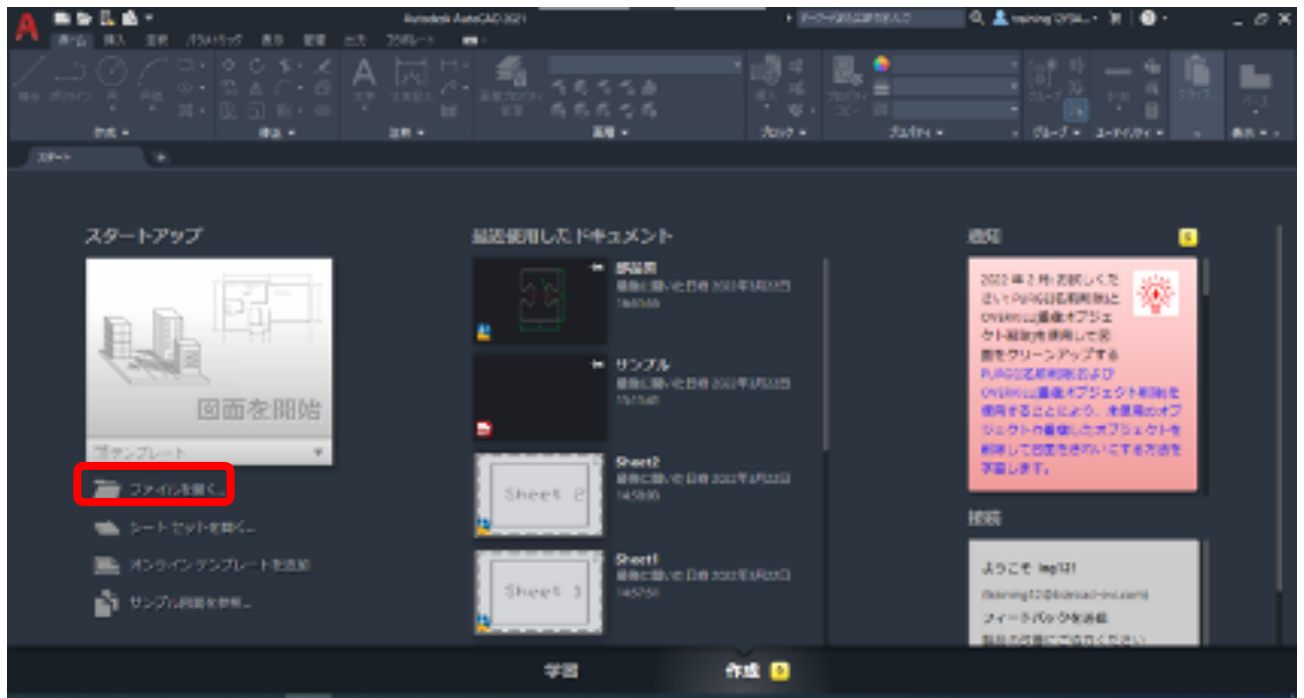
BricsCADで作成したDWGデータをAutoCADで開いてみる前にBricsCADの画層を確認してみます。

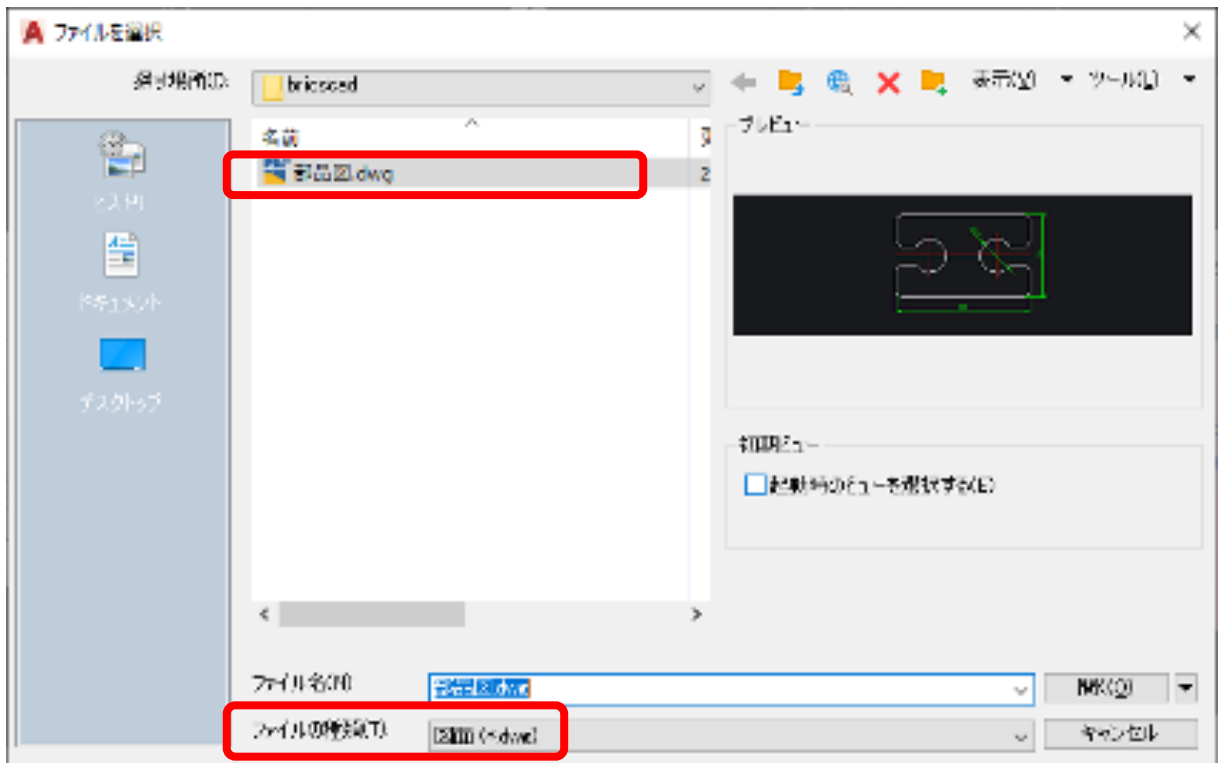
[画層コントロール]をクリックすると画層の一覧が展開されます。

6種類の画層に分かれていることが確認できます。



BricsCADで作成したデータをAutoCADの[ファイルを開く]から開きます。



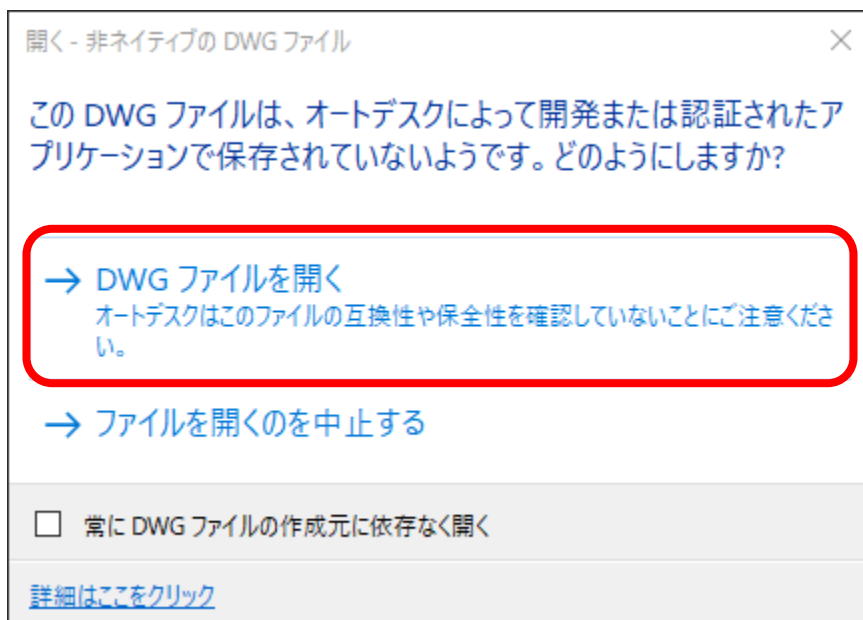


DWGデータが見つからない場合は、異なる形式が指定されている場合があるので、[ファイルの種類]を確認し、「図面(\*.dwg)」に切り替えてください。

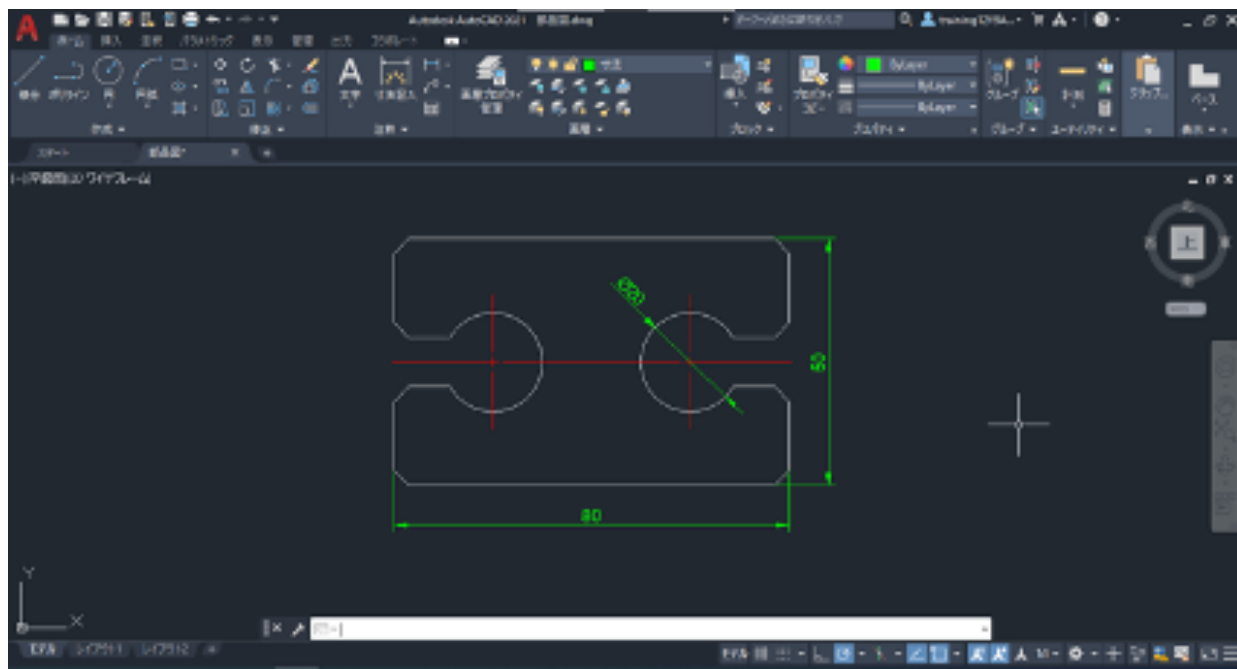
ファイルを指定して開くとこのようなメッセージが表示されます。

[→DWGファイルを開く]をクリックします。

「常にDWGファイルの作成元に依存なく開く」にチェックを入れると、次回からメッセージが出てこなくなります。



BricsCADで作成したデータをそのままAutoCADで開くことができました。



画層の一覧を確認します。



BricsCADの画層と比較してみます。



**BricsCAD**



**AutoCAD**

特に複雑な操作をしないでBricsCADのデータをAutoCADで開くことができ、画層もきれいに移行できていることが確認できました。